

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」令和3年度学園だより

とう 雲 稲

第11号

令和3年10月13日発行

発行者：校長 小貴 崇明



○新児童生徒会役員が決定～はじめてのリモート立会演説会～

10月7日（木）、児童生徒会役員選挙立会演説会と投票を実施しました。しかも、今回初めて、タブレット端末と学級のプロジェクターを活用したリモート演説会としました。

立候補した児童生徒は9名で、演説会の中で「これからの稲田学園のよりよい姿」を示し、そのために自分が先頭に立ってどうしていくかなどについて熱く演説を行いました。5～9年生の児童生徒は、自分の教室で立候補者のすばらしい演説に耳を傾け、一票を投ずべき候補者を真剣に考えていました。

立会演説会終了後、市選挙管理委員会から借用した本物の投票箱を使用し投票を行いました。即日開票の結果、下記のとおり9名の役員が信任され当選を果たしました。

8年生を中心とした新児童生徒会が、これまで築きあげてきた児童生徒会活動をさらに盛り上げていくことを期待しています。

会長	8年	〇〇	〇〇
副会長	8年	〇〇	〇〇
副会長	7年	〇	〇〇
庶務	8年	〇〇〇	〇〇
庶務	7年	〇〇〇	〇〇
庶務	6年	〇〇	〇〇
庶務	6年	〇〇	〇〇
庶務	5年	〇〇	〇〇
庶務	5年	〇〇	〇〇



○いわせ小学校陸上競技交流大会で稲田学園が躍動！

10月5日（火）に鏡石町鳥見山陸上競技場で開催された「いわせ地区陸上競技交流大会」では、稲田学園の代表として出場した6年生は、7人もの入賞者が出るなど大活躍でした。

また、体育文化後援会役員を中心とした保護者の皆様には早朝からテントの設営等で大変お世話になりました。ありがとうございました。入賞者は以下のとおりです。

【男子】

80mハードル	第6位	14秒17	〇〇	〇〇		
ジャベリックボール投げ	第2位	45m29	〇〇	〇〇	第4位	44m52 〇〇 〇〇

【女子】

80mハードル	第7位	16秒62	〇〇〇	・	〇〇〇〇
走り幅跳び	第3位	3m74	〇〇	〇〇	
走り高跳び	第4位	1m15	〇〇	〇〇	
ジャベリックボール投げ	第2位	33m10	〇〇〇〇	〇〇	



○おいしいドライトマト🍅ができました！

6年生の『ランドセル・ドライトマト・プロジェクト』で、育ててきた完全無農薬のトマトをドライトマトにして販売するという活動が進んでいます。10月1日には収穫できたトマトがドライトマトに加工できたので、その袋詰め作業を行いました。もちろんお客様に売するためには、安全な商品として衛生環境に配慮し、正確な量を測って商品にする必要があります。家庭科室で6年生は事前に指導を受け、慎重に袋詰めし自分たちで作成したイラストのラベルを貼り付けて商品が完成しました。販売する際は、ぜひともご購入よろしくお願ひします！！

(写真は、袋詰めドライトマトの完成を喜ぶ6年生)



○地域学校保健委員会を開催しました



10月12日(火)、地域学校保健委員会を開催いたしました。本校の学校保健に関わる様々な人が集い、それぞれの立場から子どもたちの健康的な生活や環境づくりについて話し合うもので、今回も本校の朝食やおやつなど、健康に関する実態を踏まえた食生活改善対策について、様々な立場からご意見をいただくことができました。これからの学校保健教育や食の指導に生かしてまいります。

○いよいよ、秋華祭を開催します！！

いよいよ10月16日(土)には、7~9年生による『秋華祭』を開催します。限られた時間ではありますが、それぞれの学年や部門ごとに準備を着々と進めてきました。生徒一人一人が協力したり助け合ったりしながら、秋華祭を成功させようとひたむきに頑張る姿がたくさん見られます。ご家族の皆様には、コロナ対策を徹底して、ぜひご覧いただきたいと思っています。※詳しくは配付した案内文をご覧ください。



★言葉と生きる(11) 「今日の風、なに色？」



全盲のピアニストとして世界的に有名な辻井伸行(つじい・のぶゆき)さんが、幼い頃に母親のいつ子さんに投げかけた質問が、今回の言葉です。いつ子さんは、生まれつき目が見えない伸行さんに色を教えるため、「リンゴは赤」「バナナは黄色」というように、実際の果物に手を触れさせたり匂いや味を感じさせたりしながら様々な色を教えていったそうです。そんな伸行さんなので、風にも色があると思って発した質問だったわけです。視

覚以外の、音だったり温度だったり風圧だったり匂いだったり、そんなところから、伸行さんは心の目で風の色が見えていたのかもしれない。そして、とりわけ音に敏感だった伸行さんの才能を見出して音楽の世界へ導いていったいつ子さんの愛情が、実は伸行さんのピアノ演奏における「色彩感」を育ててくださったのではないかと勝手に感動している私です。